

別寒辺牛川とその支流におけるカゲロウ目（昆虫綱）の種組成と分布

大阪府立大学大学院農学生命科学研究科応用昆虫学 藤谷 俊仁

別寒辺牛川とその周辺河川のカゲロウ相を明らかにするため、2002年6月27日から7月1日まで（夏）と、同年10月28日から10月30日まで（秋）の2回、カゲロウ目の幼虫の採集を行った。カゲロウ目全体で、夏は7科12属16種の1008個体を、秋は6科9属12種の768個体を採集できた。あわせて7科13属19種1776個体が採集された。

トビイロカゲロウ科 Leptophlebiidae は、PA トビイロカゲロウ *Paraleptophlebia* sp. PA が夏に、PB トビイロカゲロウ *P. sp.* PB が秋に採集された。モンカゲロウ科 Ephemeraidae はフタスジモンカゲロウ *Ephemera japonica* McLachlan が夏と秋に採集された。マダラカゲロウ科 Ephemerellidae は、キタマダラカゲロウ *Ephemerella aurivilli* (Bengtsson) とオオクママダラカゲロウ *Cincticostella nigra* (Gose) が夏と秋に採集され、オオクママダラカゲロウは秋の最優占種だった。ヨシノマダラカゲロウ *Drunella ishiyamana* Matsumura, アカマダラカゲロウ *Urachantella punctisetae* (Matsumura), マダラカゲロウ属の1種 *E. sp.* は夏に見られた。ヒメフタオカゲロウ科 Ameletidae はヒメフタオカゲロウ属の1種 *Ameletus* sp. が夏と秋に採集された。コカゲロウ科 Baetidae はサホコカゲロウ *Baetis sahoensis* Gose が夏と秋に採集され、夏には比較的優占していた。シロハラコカゲロウ *B. thermicus* Uéno は夏と秋に採集された。コカゲロウ *B. sp.* O も夏と秋に採集されたが、夏は最優占種だった。G コカゲロウ *B. sp.* G とウスバコカゲロウ属の一種 *Centroptilium* sp. は、夏に採集された。コカゲロウ科の1種 *Baetidaegen. sp.* は夏と秋に採集されたが、個体数は少なかった。フタオカゲロウ科 Siphonuridae は、オオフタオカゲロウ属の1種 *Siphonurus* sp. が、夏に1個体だけ採集された。ヒラタカゲロウ科 Heptageniidae はキタタニガワカゲロウ *Cinygma lyriformis* (McDunnough) とヤヨイミヤマタニガワカゲロウ *Cinygmula sapporensis* (Matsumura) が夏と秋に、エルモンヒラタカゲロウ *Epeorus latifolium* Uéno が夏に採集された。